

大村市政だより

■昭和39年4月22日第三種郵便物認可■毎月3回1日,10日,20日発行■定価1部5円
■発行所 大村市役所 ■編集人 庶務課長 南野鹿松 ■印刷所 つじ印刷所

実弾射撃

陸上自衛隊では4月中の実弾射撃をつぎのとおり行ないます。

実施場所=池田射撃場

実施日程=1日~11日、

20日~25日、27日~28日

昭和39年度

施政方針のあらまし

昭和三十八年の最終議会である三月定例会は三月十二日から開かれ、開会初日、大村市長は昭和三十九年度の施政方針の説明をしました。そのあらまきはつぎのとおりです。

おもな施策

農林漁業中小企業の体質改善・工場誘致・低所得者層の自立更生

昭和三十九年の本市のおもな施策としては農林漁業、中小企業の体質改善をはかり、積極的に工場を誘致して人口の増加と雇用の増大をはかるべきであると考え、なお一方低所得者層の自立更生を考えたいと思います。また、交通、通信機関の発達とともに経済圏はますます拡大されておりますので、このような重要施策を具体化して行く

(ここをとしてください)

ならないと思えます。このため既にご承知のように昨年開発公社を作つて着々その成果をあげている次第であります。このほか市発展のためにすべてのことを多角的に検討し、具体化したいと考えます。

建設

三十六年・三十七年の災害を一〇〇%復旧

都市計画事業では二千六百二十一万円を計上して天村駅前線の一部舗装、大村駅裏排水路の一部改良、大村公園整備事業などを実施し、災害復旧事業では一億四千六十万円を計上し三十六年、三十七年災害の殆んど全部の復旧を完了する予定であります。失業対策事業では年間延べ四万一千人を就業させるため三千二百七十一万円を計上しました。新設改良事業では草場線改良工事ほか数か所を

農林

市乳・みかん・野菜を基幹作目に指定

近時わが国の農業は他の産業と均衡のとれた企業の農業経営の育成に指標をおき、労働生産性の向上と生産の選択的拡大に意をそそがねばならぬ情勢であります。このような見地から今後の農林行政を力強く推進するために、本年度の事業の中心は農業構造改善事業才一年次を完全に遂行し、才二年次以降の事業の基礎を固めることにあると思えます。農業構造改善事業では市乳、みかん、野菜の三種目を基幹作目として計画し、総事業費は二億八千四百五十万円。才一年次の事業計画のおもなものは補助対象事業として

祝崎農道ほか十三件の三千五百五十九万九千円。一般助成事業として、今山農道ほか五件の五百九十七万三千円。融資単独事業として近代化資金を利用するものの資金の円滑化を期するために長崎県農業信用基金協会に対し五十万円を出資し、おおむね二千万円の資金獲得に努力いたしたいと思えます。農業振興関係では本市の地形上、近代化施設を十分に活用した集約経営の方向を推進することにし、このため農業協同組合と緊密な連携をとり、経営資金の受入れを考慮したいと存じます。開拓地については国の施策である才二次振興計画に基づく資金導入をはかるため、関係者と協議を進め指定を受ける前提となる基盤整備の建設工事を推進して開拓管農の画期的改善をはかりたいと考えっております。畜産関係では最近多頭

羽飼育の傾向が強いので鶏、乳牛、豚を対象とした集団衛生推進事業地域の指定を受け、衛生指導の推進をはかりたい。な

お乳牛については産乳能力検定事業を実施し、また畜産改良資金の貸付に百五十万円を計上し、優良家畜の保留、畜産共進

会の開催などを計画してあります。林業関係では市有林の十ヘクタールの新植、十

五ヘクタールの補植、百林手入コンクール、(木炭

の品評会などを計画してあります。耕地関係では三十七年

の品評会などを計画してあります。耕地関係では三十七年災害の八十%復旧を目標に農地、施設、関連事業

歳出

予算総額は前年度当初予算に比べ約三億一千三百万円増の十一億七千万円となっております。歳出の内訳は、①災害復旧費の二億六千四百四十万円(二十一、三%)②民生費二億一千五百十万円(十

八、四%)③総務費二億三百万円(十七、四%)④農林水産業費一億三百七十万円(八、九%)⑤教育費一億五百五十万円(八、七%)⑥土木費九千九百五十万円(七、八%)⑦公債費五千二百十万円(四、五%)⑧衛生費四千三百九十万円(三、七%)⑨

労働費三千二百七十万円(二、八%)⑩商工費二千九百万円(二、五%)⑪議会費二千七十万円(一、八%)⑫消防費一千三百九十万円(一、二%)⑬予備費二百六十万円。

なお歳出面における予算総額を経費別に大別すると①投資的経費五億六千二百三十万円(四十八%)②經常的経費三億三千万

円(二十八%)③(内訳)人件費が約二億一千六十万円物件費その他が一億一千八百四十万円④生活保護費などの扶助費一億八千三百五十万円⑤公債費五千二百十万円⑥積立金、貸付金繰出金四千百万円⑦予備費二百六十万円。

中小企業の近代化・商店会の組織作りに努力
商工関係では中小企業者の金融をより円滑にするため、市内九金融機関と商工中金に預託し、また県信用保証協会に出席を行ない、とくに本年度は融資枠の拡大をはかるため、市内金融機関に対しては預託金を増額して貸付期間の延長、利率の引下げなどの措置をします。さらに工場団地の拡充などの施策に伴う本市商工業界の発展のため、

歳入

歳入を賄う裏付としての歳入は、①地方交付税の二億九百七十万円。②財産収入三億九千九百五十万円。(内訳)財産運用収入で二百六十万円、不動産売却収入で三千六百四十万円、物品売却収入五十万円。③収益事業収入二千五百万円。(内

訳)競艇事業収入④分担金一千七百六十万円。(内訳)土地改良事業、農業構造改善事業など⑤国庫支出金三億二千六百五十万円(内訳)国庫負担金二億七千二百万円、民生費一億四千七百万円、教育費七百七十万円、教育費七百七十万円、災害復旧費(土木関係)一億一千七百九十万円、国庫補助金五千二百五十万円衛生費二百万円、

労働費一千六百七十万円土木費二千八百九十万円教育費四百八十万円、民生委託金二百万円⑥県支出金一億六千七百七十万円(内訳)民生費負担金二百万円農業水産補助金四千七百三十万円土木費補助金六百六十万円災害復旧補助金(農林関係)一億一千四百五十万円(内訳)総務費委託

金二百万円、民生費委託金二百万円。⑧市債八千八百六十万円。(内訳)市庁舎建設債三千五百万円災害復旧債一千九百九十万円、土木債一千四百三十万円、教育債九百四十万円など⑨市税一億九千二百二十七万九千円。前年度に当初比べて一千三百六十六万六千円の増

水産関係では大村湾が近く国の沿岸漁業構造改善事業の指定を受けることになっておりますが、昨年に引き続き実施を予定しておりますコンクリートブロック、沈船投石などによる魚礁の設置事業、貝類海藻類などの増殖事業、外海集団操業などは

商工会議所その他の関係機関と緊密な連絡をとり企業診断等の実施によりまた中小企業の設備の近代化、経営技術の向上をはかるとともに、協同組合あるいは商店会の組織づくりについての指導育成に努力し、また商店街の美化をはかるため、街路灯などの設置を推進いたしたいと考えています
なお、懸案の鈴田、三浦地区の電話を早く自動化にし、無電話部落に対する農村公衆電話の設置未点灯世帯の解消、市内バス路線の新設合理化、国鉄ダイヤの改善などについてもさらに努力いたします。

その殆んどが指定事業となっており、地元漁協と緊密な連携をとり受入体制に万全を期したいと思ひます。

とくに「のり」については将来有望と思われますので指導奨励いたしたいと考えています。

なお内水面漁業については那川水域および蘆瀬ダムの資源の繁殖をはかるため鮎、鯉「ニジマス」の放流を計画いたしています。

つぎに漁業協同組合の組織の充実強化をはかるため、市内二漁協の統合に努力したい。また工場誘致等に伴う水質の汚染には十分注意して沿岸漁業の振興に支障がないよう留意いたす考えであります。

観光事業では市内観光資源の開発を強力に推進するため、観光協会、その他市内商工界の関係機関と緊密な連絡をはかりつゝ、日本観光協会による観光診断を実施いたした

と思ひます。

また大村湾県立公園指定についても関係市町村と相携えて促進をはかるとともに、旅館の日本観光旅館連盟への加入の指導育成を行なうなど総合観光の推進を考えております。

企業誘致については、昨年新設二工場、増設二工場が実現いたしましたので、引続き産業経済界に対し本市の工業立地条件の特色を啓蒙宣伝し、誘致工場に対しては適切な助成措置をはかる一方、資料などをさらに整備して受入体制を確立いたしたい。

教育

各種団体の活動を強化

体育課を新設

本年は東京オリンピックの年でもあり、昭和四十四年には国体の本県開催も考えられますので、体育を盛んにし、青少年の健全育成のためのスポー

ツを振興して心身共に健康な市民をつくる一助といたすために体育課を新設することにいたしました。

学校施設については計画的に、机、腰掛、校具教具の整備充実を行ない大村小学校その他の増改築も予定しています。

父兄の負担軽減は十分考え、奨学金も貸付金の増額をしました。学校教育は施設、教具の充実と相まって教職員の研修と指導体制の強化、特殊教育の充実などの推進をはかりたい。社会教育は子供会、青年学級、婦人学級などを育成強化し、両親の家庭教育の推進、公民館の指導体制の強化、図書館郷土館の整備をいたしたい。体育保健については体育指導員の活動を促進して健康で明るい町づくりのために、公民館、各種団体、地域社会にスポーツ精神をしん透させ、また指導者の養成、体育、保健、給食などに

衛生

伝染病に重点し尿処理もさらに充実

ついで施設の改善充実をはかりたい考えであります。

赤痢の発生があとをたないで、手洗運動、そ

族こん虫、駆除、その他伝染病予防の啓発を行なうとともに育児、成人病相談、寄生虫予防運動などを行ないます。定期の予防注射、小児マヒ生ワクチンの投与も無料で行ない、日本脳炎の予防注射も減免の措置を講じた

い。清掃事業では車輛の整備をはかり焼却と埋立の併用によつて完全な処理を期し、また、し尿処理についても二ヶ年計画で処理能力を倍増する予定です。

福祉

保護の適正化に努力
国民年金の加入にご協力を

本年から生活扶助基準の十三%引上げが予想されています。また保護率は昨年十二月現在で五、五%で一昨年に比べ約九人多くなっておりますがこれは本市の特殊事情によるもので、保護の適正化民生委員協議会、社会福祉協議会の育成強化、保護世帯の生活指導、自立更生への推進に努力いたしたい。児童福祉については、四カ所の保育所での乳幼児の保育、また農繁期には地区民の協力を得て季節保育所十三カ所を開設する予定です。

国民年金は、とくに町内会、婦人団体などの協力を得て取りまとめ納付に努力いたしたいと考えております。市民皆様の一層のご協力をお願いいたします。

消防

三十九年中に消防署を設置すべく準備中

消防技術修得のため、本年も長崎県消防学校に研修生の派遣を計画しています。消防組織法の一部改正により三十九年中に消防本部、消防署を設置しなければなりませんので、現在準備中です。

市民

窓口合理化のため市民の実態を適確には握

町務連絡員制度は市の行政に欠くことのできない機構であり、貴重な存在でありますので、従来どおり町総代にその事務を委嘱し、報酬も若干増額し、その労苦に報いたい所存であります。

戸籍関係では旧法戸籍の才二次改製を進め、九月には全部を完了する予定です。住民登録関係では一斉調査を行ない、住民の実態を適確にし、各種行政の基礎資料の一貫性をはかりたい。

改善 事務機構

地方行政の近代化と住民サービス向上のため新庁舎建設を機会に、簡単な事務の受付、証明、申請などは市民課で処理できるようにしたい。また、行

特別会計事業

健康 国民保険

昨年十月からの世帯主の七割給付、医療費地域差撤廃、受診率等の上昇による医療費の増加で、ある程度の保険税の引上げが必要ですが、低所得層については昨年度並の減税を実施する予定です。

水道事業

給水戸数は一月末現在六千三百五戸で昨年に比べ七、五%の増となっております。また施設の老朽化と給水量の増加で、水圧低下の地区もありますので今後市の発展に伴い水道事業を推進いたします。

モーターボート 競走事業

本年度から地方公営企業法の「財務規定等」を適用することになり、企業会計に切替え基本計画を立てて事業を推進いたします。またその益金二千五百万円を一般会計に繰出すことにしています。

病院

上はせず今しばらくは企業の合理化と改善により極力経費の節減につとめたいと思います。本年度より地方公営企業法の「財務規定等」の一部の適用により企業会計に切り替え、事業の基本方針に基ずいて本来の使命達成に努力いたします。

1日〜20日は固定資産税課税台帳の縦覧期間です、必ず見て、正しい課税に協力しましょう。昭和39年度固定資産税の一期分の納期は5月15日から5月31日までです。必ずず期日までに納めましょう。

種痘の予防接種

種痘の予防接種をつぎのとおり行ないます。該当者はもれなく接種を受けてください。▷該当者 昭和38年2月1日から39年1月31日までに生れたもの。およびまだ、1回も接種していないもの。ただし、38年の秋の種痘で善感(よく痘苗がつもいたの)だったものは該当しません。▷料金無料です ▷母子手帳を持参してください。

Table with 3 columns: 場所 (Location), 接種日 (Vaccination Date), 検診日 (Checkup Date). Rows include 中央公民館, 三浦診察所, 池田清和園, etc.

▶時間は、いずれも午後1時30分から3時30分まで。

クレーダとブルドーザの運転手を募集

大村市開発公社ではつきのとおり技能職員を募集しています。希望者は開発公社事務局(大村市役所企画室内)へ申し込みください。

① 職種

グレーダー運転手一名、ブルドーザ運転手一名

② 資格要件

イ、学歴は問いませんが学校教育法による新制中学校以上の学力を要します。ロ、年齢は十八才以上おむね三十才ぐらい

までの男子

ハ、市内居住の人ニ、応募する職種の免許資格を有し、一年以上の経験者、

③ 申込期日

四月十日午後五時までなお、くわしいことは事務局(市役所企画室内)へおたずねください。

墓地の改葬

▽墓地の所在地 福岡県筑紫野町大字牛島字塔尾四五十番地 改葬理由 使用目的変更のため。 改葬先 福岡県筑紫野町 届出期日 昭和三十九年四月十五日

筑紫野町大字阿志岐円徳寺 届出先 福岡県筑紫野町 筑紫野町大字牛島四一六番地 八尋守茂 届出期日 昭和三十九年四月五日

▽墓地の所在地 高知市北端町字西ノ城一〇・一一番地 改葬の理由 高知学園運動場拡張予定のため

改葬先 高知市北端町字西ノ城一〇・一一の内 届出先 高知市北端町一〇〇番地高知学園 高知市帯屋町高知市役所保健衛生課 届出期日 昭和三十九年四月十五日